

高齢者が暮らしやすいまちづくりのための 福祉に関するアンケート

～ご協力をお願いします～

皆さまの回答は、高齢者が暮らしやすい、支え合うまちづくりに役立っています。

市民の皆さまには、日頃から市政発展のためにご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

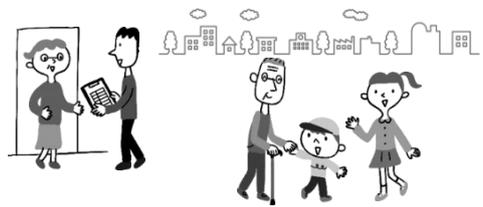
市では、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ改定いたします。

これらの計画に市民の皆さまの意見をいかすため、65歳以上の中から2,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

これからの福祉は市民が主役です。

例えば、地域の活動に参加したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、支え合うまちづくりのひとつです。

市民の皆さまをはじめ、地域の団体や商店、学校や企業などの皆さまと一緒に、みんなで支え合うことがとても大切になります。



このアンケートは無記名です。回答は統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、回答を調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年●月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年●月●日(●)

【回答方法】《郵送》または《インターネット》

(※あなたが回答しやすいどちらかの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

①封筒のあて名ご本人がお答えください。

なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の人が記入しても差し支えありません。

②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、()に具体的な内容を記入してください。

③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。

④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封緘し、回答期限までにポストに投函してください。

《インターネット》回答の方法

①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。

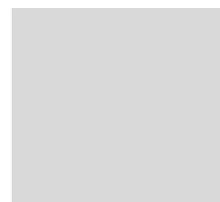
②ログイン画面で下記のパスワードを入力すると回答ページに移動します。調査票と同じ質問が画面に表示されます。

③回答には30分程度かかります。途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時に回答してください。

<専用ウェブサイトURL>

https *****

パスワード *****



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 高齢者支援室 担当 小林, ●●

電話 042-481-7149(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail kourei@w2.city.chofu.tokyo.jp

★は、令和元年調査にあった設問

★#は、同調査の設問から選択肢や回答者を変更した設問

#は、新規設問

1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 ★#性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 ★#年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年●月1日現在)

1 65～69歳	3 75～79歳	5 85歳以上
2 70～74歳	4 80～84歳	

問3 ★#お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

番号に○	(参考)地域に属する地区(○は不要)		
1	東つつじヶ丘1丁目, 2丁目 西つつじヶ丘1丁目, 2丁目, 3丁目	緑ヶ丘 若葉町1丁目	仙川町
2	東つつじヶ丘3丁目 西つつじヶ丘4丁目	菊野台 若葉町2丁目, 3丁目	入間町
3	佐須町1丁目, 2丁目, 4丁目, 5丁目 深大寺南町1丁目, 2丁目, 3丁目	調布ヶ丘3丁目 深大寺東町3丁目, 4丁目	柴崎
4	深大寺東町1丁目, 2丁目, 5丁目, 6丁目, 7丁目, 8丁目 深大寺元町2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目	深大寺北町 深大寺南町4丁目, 5丁目	
5	国領町1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目, 8丁目 布田2丁目, 3丁目	調布ヶ丘2丁目	佐須町3丁目 八雲台
6	国領町6丁目, 7丁目 多摩川6丁目, 7丁目	布田5丁目, 6丁目 染地	
7	多摩川1丁目, 2丁目, 3丁目, 4丁目, 5丁目 布田1丁目, 4丁目	調布ヶ丘1丁目, 4丁目 深大寺元町1丁目	下石原1丁目 小島町
8	上石原 下石原2丁目, 3丁目	富士見町 飛田給	西町 野水

調布市民福祉ニーズ調査【高齢者(65歳以上)】

問4 #市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

- 1 1年未満
- 2 1年以上3年未満
- 3 3年以上5年未満
- 4 5年以上10年未満
- 5 10年以上20年未満
- 6 20年以上30年未満
- 7 30年以上

問5 ★#住居形態を教えてください。(1つに○)

- 1 自宅(持ち家)で生活している
- 2 自宅(賃貸)で生活している
- 3 病院に入院している,施設を利用している
- 4 上記以外

問6 ★同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ(配偶者は65歳以上)
- 3 夫婦のみ(配偶者は65歳未満)
- 4 上記(1~3)以外で世帯全員が65歳以上
- 5 上記(1~4)以外

問7 ★あなたは現在,介護を受けていますか。(いくつでも○)

- 1 家族や親族から介護を受けている
- 2 介護保険制度を利用して介護を受けている
- 3 その他の人から介護を受けている(具体的に:)
- 4 介護を受けていない

2 ご近所付き合いについておたずねします

問8 ★ご近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)

- 1 家を行き来するなど、親しくしている
- 2 立ち話をする程度
- 3 あいさつをする程度
- 4 近所付き合いをしていない →付問へ

付問★ 前問で「4 近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。ご近所付き合いをしていない理由は何ですか。(いくつでも○)

- 1 仕事や家事などで忙しく時間がないから
- 2 引っ越してきて間もないから
- 3 普段、付き合う機会がないから
- 4 同世代の人が近くにいないから
- 5 気の合う人や話の合う人が近くにいないから
- 6 あまり関わりをもちたくないから
- 7 その他
(具体的に:)

問9 #暮らしの中でご近所付き合いは必要と思いますか。(1つに○)

- 1 とても必要と思う
- 2 どちらかといえば、必要と思う
- 3 どちらかといえば、必要ないと思う
- 4 必要ないと思う

3 市民同士の支え合い、地域活動についておたずねします

問10 ★あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。

	①手助けしてほしいか		②手助けできるか	
	してほしい	してほしい	できる・いいこと	できる・いいこと
回答例	①	2	①	2
ア 安否確認の声かけ	1	2	1	2
イ ちょっとした買い物やごみ出し	1	2	1	2
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	1	2	1	2
エ 通院の送迎や外出の手助け	1	2	1	2
オ 子どもの預かり	1	2	1	2
カ 話し相手や相談相手	1	2	1	2
キ 災害時避難の手助け	1	2	1	2
ク 具合がよくない時に病院などに連絡する	1	2	1	2

問11 #この1年で、家族以外のまわりの人に、上記ア～クのような手伝いや手助けをしましたか。また、手伝いや手助けをしてもらいましたか。(それぞれ1つに○)

①手伝いや手助けをしたか	1 した 2 しなかった(そういう場面はあった) 3 そういう場面がなかった
②手伝いや手助けをもらったか	1 してもらった 2 してもらわなかった(してほしいことはあった) 3 してほしいことがなかった

問12 #家族以外のまわりの人に、問10ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み
2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み
3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み
4 その他(具体的に: _____)
5 取組は必要ない(できる時はする)
6 わからない

問13 ★#市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取り組みたいですか。(それぞれ1つに○)

	①取組状況		②今後の意向		
	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組みたい、興味がある	取り組みまない、興味がない	わからない
回答例	①	2	①	2	3
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動	1	2	1	2	3
イ 高齢者を支援する活動	1	2	1	2	3
ウ 障害のある人を支援する活動	1	2	1	2	3
エ お祭りや運動会などのレクリエーション活動, 地域の伝統や文化を伝える活動	1	2	1	2	3
オ 交通安全や犯罪防止など, 地域の安全を守る活動	1	2	1	2	3
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2	1	2	3
キ 地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動	1	2	1	2	3
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	1	2	1	2	3
ケ 趣味・習いごとなどの活動	1	2	1	2	3

問14 ★どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 子どもの世話や介護を代わってもらう | 7 参加することでメリットがある(報酬など) |
| 2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる | 8 活動資金の補助や援助がある |
| 3 友人・知人と一緒に参加できる | 9 その他(具体的に:) |
| 4 時間や期間にあまりしぼられない | 10 わからない |
| 5 身近なところに活動できる場がある | 11 条件によらず, 参加したくない |
| 6 世話人やリーダーがいる | |

問15 #地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 市や社会福祉協議会の広報・ホームページ | 6 活動団体や大会・イベントのホームページ |
| 2 図書館・公民館などにあるポスター・チラシ | 7 SNS※で聞く |
| 3 学校や職場にあるポスター・チラシ | 8 友人・知人に聞く |
| 4 駅・お店にあるポスター・チラシ | 9 その他(具体的に:) |
| 5 ボランティアなどの募集情報サイト | 10 わからない, 関心がない |

※SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) とは, 登録された利用者同士が交流できる, コンピュータやスマートフォンなどを使用したインターネット上のサービス(例:ライン・ツイッター・フェイスブックなど)。

4 就労についておたずねします

問16 ★#現在の職業を教えてください。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| 1 正規の社員・職員・役員 | } →付問へ |
| 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) | |
| 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む) | |
| 4 シルバー人材センター・有償ボランティア | |
| 5 仕事はしていない | |

付問# 前問で「1~3(会社などで働いている)」と答えた人におたずねします。現在の職業に就いている経緯を教えてください。(いくつでも○)

- | |
|------------------------------------|
| 1 継続雇用 |
| 2 再就職(ハローワーク, 友人・知人, 民間(情報誌・登録など)) |
| 3 独立して開業 |
| 4 その他(具体的に: _____) |

問17 ★あなたが仕事をする(したいと思う)主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 生活費をまかなうため | 6 技術や経験をいかしたいから |
| 2 健康によいから | 7 地域に貢献したいから |
| 3 働くことに生きがいを感じるから | 8 その他(具体的に: _____) |
| 4 社会的に現役でいたいから | 9 働くつもりはない |
| 5 時間に余裕があるから | |

問18 #高齢者が就労する(続ける)ために特に必要なことは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 健康・体力 | 6 仕事に合わせる柔軟性 |
| 2 専門知識・技能 | 7 人脈・知り合い |
| 3 協調性・真摯な態度 | 8 定年前からの準備 |
| 4 意欲・情熱 | 9 その他(具体的に: _____) |
| 5 高齢者にあった職場・就労環境 | 10 わからない |

5 災害時の対策についておたずねします

問19 ★災害や火災などの緊急時に一人で避難することができますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 一人で判断し、避難できる |
| 2 一人で判断できるが、避難はできない |
| 3 一人では判断できないし、避難もできない |

問20 ★#災害や火災などの緊急時に避難を助けてくれる人がいますか。(いくつでも○)

- | |
|---------------------|
| 1 家族 |
| 2 近所の友人・知人 |
| 3 自治会・民生委員などの地域の支援者 |
| 4 その他(具体的に: _____) |
| 5 避難を助けてくれるような人はいない |

問21 #防災マップ・洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。
(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問22 #災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 防災行政無線 | 5 ケーブルテレビ |
| 2 調布市防災・安全情報メール | 6 SNS |
| 3 調布 FM | 7 その他(具体的に: _____) |
| 4 市ホームページ | 8 わからない |

問23 #一人で避難することが難しくなった場合に備えて、避難行動要支援者名簿※に登録する意向はありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------|
| 1 登録したい(既に登録している) | 2 登録しない |
|-------------------|---------|

※ 市では、災害時の避難行動に支援が必要な高齢者や障害者など(避難行動要支援者)の名簿を作成している。名簿の対象者のうち、同意を得られた人の名簿情報については、平常時から避難支援等関係者に提供し、日頃からの交流を通じた災害に対する助け合いの体制を構築している。

6 健康増進, 権利擁護の取組についておたずねします

問24 ★「高齢者」と意識する年齢は、何歳からですか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。(1つに○)

1 65歳以上	3 75歳以上	5 85歳以上
2 70歳以上	4 80歳以上	

問25 #あなたは、健やかに暮らすために、次のことに取り組んでいますか。(それぞれ1つに○)

	今、取り組んでいる	今後は取り組む 取り組んでいないが、	今後も取り組まない 取り組んでいないし、	わからない
回答例	①	2	3	4
ア 認知症予防	1	2	3	4
イ フレイル*予防	1	2	3	4

※ 加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能など)が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態。

問26 ★近年、人生のエンディングに向けて、元気なうちからさまざまな準備をする活動が広がっています。①あなたは、次のような事柄をご存知でしたか。②今後、次のような事柄を活用したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

	①認知状況		②今後の意向			説明
	知っている	知らない	活用したい	活用しない	わからない	
回答例	①	2	①	2	3	
ア 終活(エンディング)ノート	1	2	1	2	3	銀行口座などの財産や介護や医療に関する希望、葬儀の内容など、自分の思いや希望を家族など親族に伝えるために書き記すノートのこと。
イ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)	1	2	1	2	3	自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチームなどと繰り返し話し合い共有する取組のこと。

問27 ★認知症の人やその家族を支えるため、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。
(いくつでも○)

- 1 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
- 2 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
- 3 できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
- 4 家族の身体的・精神的負担を減らす取組
- 5 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組
- 6 認知症の人を地域で見守る体制の充実
- 7 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
- 8 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組
- 9 認知症の人が利用できる介護施設の充実
- 10 認知症になっても地域で役割をもって暮らし続けられる体制の整備
- 11 認知症にも対応している保険の充実
- 12 その他(具体的に:)
- 13 特にない

問28 #ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、
誰に支援をしてほしいですか。(2つまで○)

- 1 家族・親族
- 2 友人・知人
- 3 成年後見人(弁護士・司法書士・社会福祉士など)
- 4 市民後見人
- 5 その他(具体的に:)
- 6 わからない

7 暮らしのことについておたずねします

問29 #新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか(影響があった時期は問いません)。(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない わからない
回答例	①	2	3	4
ア 自宅での趣味・学習・教養などに充てる時間	1	2	3	4
イ 家族との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	1	2	3	4
ウ 友人・知人との会話や連絡の頻度(電話などを含む)	1	2	3	4
エ 生活に必要な外出の頻度 (買い物・食事・医療機関の受診など)	1	2	3	4
オ 趣味活動や社会参加の外出の頻度 (スポーツ・ボランティア・通いの場など)	1	2	3	4
カ 体力・筋力	1	2	3	4
キ 認知機能の低下や物忘れを自覚する・指摘される頻度	1	2	3	4
ク 時間を持て余す頻度(何もすることがない時間)	1	2	3	4

問30 ★日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

- 1 同居の家族
- 2 別居の家族や親戚
- 3 自治会や近所の人
- 4 友人・知人
- 5 民生委員・児童委員
- 6 地域福祉コーディネーター※1
- 7 ケアマネジャー(介護支援専門員)・ヘルパー(介護員)などの事業者
- 8 かかりつけ医や保健師などの医療関係者
- 9 市役所
- 10 社会福祉協議会
- 11 地域包括支援センター
- 12 ちょうふ若者サポートステーション※2
- 13 子ども家庭支援センターすこやか
- 14 調布ライフサポート※3
- 15 その他(具体的に: _____)
- 16 身近に相談できる人や機関はない

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)は、生活上の悩みや困りごとを抱える人に対し、さまざまな機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、住民主体の活動の促進や地域でのネットワーク構築といった取組を進める役割を担う。

※2 ちょうふ若者サポートステーションは、15～49歳対象の職業的自立のための総合相談窓口。

※3 調布ライフサポートは、経済的な理由などで困っている人に対するトータルな相談窓口。

問31 #現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

1 ある	→付問へ	2 ない
------	------	------

付問#前問で「1 ある」と答えた人におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

1 自分・配偶者の健康・病気	7 子ども・孫の健康・病気・介助・将来
2 自分・配偶者の運動機能・体力の変化	8 住まい
3 自分・配偶者の認知機能の変化	9 お金(財産管理・相続含む)
4 自分・配偶者の介護	10 仕事
5 親の健康・病気・介護	11 人間関係, 人との付き合い方
6 兄弟姉妹の健康・病気・介護	12 その他
(具体的に:)	

問32 #自宅以外に一人で、あるいは友人・知人と過ごす場所がありますか。(1つに○)

1 ある	2 ない
------	------

問33 #自宅以外に一人で、あるいは友人・知人と過ごす場合、どのような場所を望みますか。(いくつでも○)

1 友人・知人宅	7 商業施設(飲食店除く)
2 文化施設(図書館・資料館など)	8 公園・自然
3 集会施設(公民館・自治会館・交流スペースなど)	9 インターネット・SNS
4 福祉施設	10 その他
5 運動施設	(具体的に:)
6 飲食店	11 必要ない

8 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問34 #お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 隣近所などとの付き合い	1	2	3	4	5
イ 町内会・地区協議会の活動	1	2	3	4	5
ウ 地域の交流	1	2	3	4	5
エ サークルやボランティアの活動	1	2	3	4	5
オ 地域の防災・防犯対策	1	2	3	4	5
カ 相談できる体制	1	2	3	4	5
キ 買い物などの便利さ	1	2	3	4	5
ク 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5
ケ 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5

問35 ★# 高齢者の生活を守る取組や相談窓口などがあります。下記のことをご存知ですか。(それぞれ1つに○)

	知っている	知らない	説明
回答例	①	2	
ア 見守りネットワーク(みまもっと)	1	2	地域住民・協力団体などが、地域の高齢者などの異変や生活上の支障などに気付いたら、その情報を地域包括支援センターに連絡する活動。
イ 高齢者虐待防止法	1	2	高齢者を虐待から守ることを目的として平成18年4月に施行されている。高齢者虐待とは、身体的暴行のほか、心理的外傷を与える言動、世話の放棄、財産の不当な処理なども含む。
ウ 調布市消費生活相談室	1	2	買物相談をはじめ、悪質商法の被害など、市民の消費生活に関するさまざまなトラブルや相談に対応している。
エ 地域包括支援センター	1	2	高齢者やその家族が地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関するさまざまな相談ができる総合相談窓口。
オ 「くらしの案内～シルバー編～」	1	2	高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするために、毎年、発行している冊子。
カ 調布ライフサポート	1	2	経済的な理由などで生活にお困りの人に対するトータルな相談窓口。
キ 住まいぬくもり相談室	1	2	適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス、行政支援などを紹介している。

問36 #市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす,幅を広げるなど)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院などのスロープ,エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など,誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように障害物(商品や看板,放置自転車,電柱など)が取り除かれ,段差や凹凸が少なく,十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 大きな文字・絵・複数の言語を用いた,誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
ケ 手話のできる職員が配置されていたり,音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園・道路などを含む,まち全体のユニバーサルデザイン※	1	2	3	4	5
シ 高齢者,子ども連れの家族,障害や病気などに配慮する人々の意識や接し方	1	2	3	4	5

※ ユニバーサルデザインとは,障害の有無・年齢・性別・人種などに関わらず,多様な人が利用しやすいよう,事前に環境などをデザインすること。

問37 ★調布市の高齢者保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(5つまで○)

- 1 趣味や生きがいづくり・社会参加への支援
- 2 働く機会や場所づくり
- 3 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援
- 4 自立生活のための家事(炊事・洗濯・掃除など)についての指導
- 5 介護保険サービスの充実(ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど)
- 6 介護保険以外の保健福祉サービスの充実(配食サービス・紙おむつの給付など)
- 7 ボランティアや地域活動の充実
- 8 ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合うまちづくりへの支援
- 9 低所得者などへの経済的支援
- 10 既存住宅の改修支援
- 11 安価な賃貸住宅の供給
- 12 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備
- 13 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備
- 14 利用しやすい成年後見制度
- 15 介護者に対する支援
- 16 その他(具体的に: _____)
- 17 わからない

問38 ★介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

- 1 介護者に対する定期的な情報提供
- 2 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり
- 3 リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供
- 4 電話や訪問による相談サービス
- 5 本人や介護者が集まって話せる場づくり
- 6 家族会や介護者の自助グループ
- 7 在宅介護者への手当
- 8 介護休業取得者のいる企業への支援制度
- 9 介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策
- 10 介護者の経験をいかした介護問題への発言の場づくり
- 11 その他(具体的に: _____)
- 12 特にない

問39 ★#市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが暮らしやすいまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の支え合い	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさんの方の質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。
調査結果は市ホームページで公表し、図書館などで閲覧できます（令和5年4月頃の予定）。